

## 4 高い濃度の放射性セシウムが付着した米について(参考)

プレスリリース

### 高い濃度の放射性セシウムが付着した米について

平成24年10月5日

水田畑作課

#### 1 検査の結果

(1) 検査対象 郡山市(旧守山町)の生産者(1戸)が生産した玄米

(2) 検査結果

検査区分	検査実施数	検査結果
全量全袋検査	283袋	スクリーニングレベル超 1袋 スクリーニングレベル以下 282袋
ゲルマニウム半 導体検出器での 検査	18検体※1	170~290Bq/kg
	4検体 (1袋から2検 体ずつを抽出)	※2 洗浄前180Bq/kg→洗浄後15Bq/kg 洗浄前290Bq/kg→洗浄後25Bq/kg

※1 1袋を18に分けて検査

※2 外部からの汚染が疑われたため、洗浄処理してゲルマニウム半導体検出器で検査した。

#### 2 原因

この生産者の米283袋のうち1袋だけが高いことや、袋の中からわらくずやネズミのフンなどの異物が確認されたことで、外部からの汚染が疑われたため、米を洗浄して検査した結果、放射性セシウムの濃度は大きく低下した。

また、生産者等からの聞き取りした結果、作業の過程で、警戒区域に置かれていたもみすり機を導入し、洗浄せず使用したことが判明した。

これらの結果から、スクリーニングレベルを超過したのは、もみすり機に存在していた放射性セシウムが付着したことが原因であることが分かった。

#### 3 対応

(1) 原因が、玄米の汚染ではないことが確認できたため、郡山市(旧守山町)に対する出荷自粛は要請しない。

(2) 今回のケースを踏まえ、農業者及び関係者に、警戒区域から移設した農業用機械は十分に除染すること、農作業の始業時に清掃を徹底することを、改めて周知する。